

日本獣医生命科学大学と日東紡績株式会社がネコの慢性腎臓病の早期発見・予防に関する共同研究を開始

日本獣医生命科学大学(東京都武蔵野市／学長:鈴木浩悦)はこのたび、日東紡績株式会社(取締役 代表執行役 社長:多田弘行)と共同研究契約を締結しました。今後、ネコの慢性腎臓病の早期発見・予防に関する第一人者である宮川優一准教授が、同社との研究を進めていきます。

日東紡績株式会社は2023年に創立100周年をむかえ、次の100年に向けた新たな事業の創出に取り組んでいます。同年4月には、新規事業創出センターを設立しました。同社が持つ強みと他社の技術力・創造力を掛け合わせたオープンイノベーションの推進を通じ、新規事業の探索を進めています。

なかでも、コンパニオンアニマルの高齢化の進展や、飼育環境の変化に伴う医療・疾病予防ニーズの拡大を見据え、スマートフォンをベースとし、自宅で疾病の状態や罹患リスクが検査可能なアプリケーションの開発を進めており、課題解決の対象としてネコの慢性腎臓病に着目しました。

慢性腎臓病はネコの3頭に1頭が生涯に罹患する疾患として広く認知されており、同社ではアプリを通じて飼い主へ簡便で正確なセルフチェックを提案し、獣医師への早期受診提案等を通して、ヒトと動物との共生社会の実現を目指しています。

開発および機能拡張、医療機器への適応に際し、同社は日本獣医生命科学大学に協力を依頼。ネコの慢性腎臓病の診断・治療の第一人者である獣医内科学研究室第二の宮川優一准教授が、同社との共同研究を開始しました。

今後、この革新的なサービスプラットフォームを拡張・発展させ、将来的にヒトのメディカル・ヘルスケアの両輪において新規事業の創出を加速させていくことが期待されています。

●宮川優一准教授

・専門分野: 獣医腎臓内科、獣医循環器内科

・獣医内科学研究室第二: <https://www.nvlu.ac.jp/veterinary-medicine/members/012.html/>

■日東紡績株式会社 新規事業創出センター 概要

【設立年月日】2023年4月1日

【ミッション】次の100年に向け、日東紡の新たな事業の柱をつくる

【基本方針】

日東紡が持つ強みと他社の技術力・創造力を掛け合わせたオープンイノベーションの推進を通じ(特にスタートアップ企業との協業)以下の切り口にて新規事業の創出に取り組む

1. 社会変化のトレンドを捉えた革新的な技術・ビジネスの探索
2. 既存事業とのシナジーに繋がる技術・ビジネスの探索

【重点領域】

1. ヘルスケア領域(予防医療・未病)
2. 環境・エネルギー
3. デジタル技術・データ活用
4. 地域への貢献

(参考情報)ネコの慢性腎臓病について

ネコの腎臓病は3頭に1頭が生涯に罹患する疾患として知られています。また、ネコの飼育頭数は増加傾向にあり、高齢化による慢性疾患に罹患するネコの増加が想定されています。

この慢性疾患のうち、最も代表的な慢性腎臓病は特徴的な症状が出始めるのはステージが後期になってからであり、進行例においては完治が難しい疾患です。よって、より早期に疾病発生の兆候をつかみ、獣医師の診断を仰ぐことが、ネコと飼い主の両者にとって有益であると考えられます。

▼本件に関する問合せ先

研究推進課

住所: 〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1

TEL: 0422-31-4151

FAX: 0422-33-2094

E-mail: research@nvl.u.ac.jp